

第10回

九州新聞社 ピアノコンクール 参加者募集

主催：九州新聞社ピアノコンクール実行委員会
後援：福岡県／福岡市教育委員会／大分県／大分市教育委員会
佐賀県／佐賀市教育委員会／長崎県／長崎市教育委員会

九州新聞社ピアノコンクールは、九州の音楽文化向上に貢献したいとの思いで10年目の開催を迎えます。出場される方の励みになるよう、本選の入賞者全員の氏名、指導者名を佐賀新聞、西日本新聞に掲載。さらには豪華トロフィーをご用意いたします。

一 次 予 選		二 次 予 選	本 選
福岡 大分	令和4年 8月21日(日) 会場 / 福岡女学院 ギール記念講堂	福岡 大分	令和4年 12月4日(日) 会場 / 福岡女学院 ギール記念講堂
佐賀 長崎	8月27日(土)28日(日) 会場 / エスプラッツホール	佐賀 長崎	12月10日(土)11日(日) 会場 / エスプラッツホール
各予選は、居住地域にとらわれず、 ご都合の良い日程、場所で受験していただく事が出来ます。		※本選 課題曲部門：25日(土) 自由曲・デュオ部門：26日(日)	

本選ゲスト審査員には日本を代表するピアニスト 横山幸雄氏!!



©大村克己

人気と実力を兼ね備えた日本を代表するピアニスト。
第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞。
2021年にはデビュー30周年を迎え、常に第一線で活躍をしている。
各地の一流オーケストラやアーティストとの共演で絶大な信頼と評価を得ると共に、10年にわたる東京FMの番組でのパーソナリティや、数十枚に及ぶCD制作などにおいても高い評価を得てきている。数々の壮大なコンサート企画で注目を浴びる一方、自身がプロデュースするリスタンテバガソヤキメラ、ピアンカーラサロンでのより身近に音楽を感じていただける機会の創出や、昨年から始めたライブ配信リサタイトル「マイハートピアノライブ」など、さらに意欲的に活動の幅を広げている。
名古屋芸術大学、京都市立芸術大学、広島大学、エリザベト音楽大学、山梨大学、各客員教授。また、故中村紘子女士の後を受け、日本パデレフスキー協会会長も務める。
2020年東京文化会館ホールでの2日間にわたる『ベートーヴェン生誕250年記念ピアノソナタ全32曲連続演奏会』が全て収録されたDVDが好評発売中。

オフィシャル・サイト
<http://yokoyamayukio.net/>



コンクールの流れ

- ◆ 一次予選の入賞者は二次予選に、二次予選の入賞者は本選にそれぞれ出場できます。
- ◆ 各予選・本選ではグランプリ、準グランプリ、最優秀賞、優秀賞を各コースから出します。
- ◆ 本選のゲスト審査員はピアニストの横山幸雄氏、それ以外の審査員は非公表です。
- ◆ 横山幸雄氏の審査は2月26日(日)の自由曲部門・デュオ部門のみです。

本選日時：2023年2月25日(土)・26日(日)

会 場：福岡女学院ギール記念講堂 (福岡県福岡市南区日佐)

2歳から
一般まで
出場可能!

〈申込書受付期間〉 5月1日(日)～6月30日(木)

九州新聞社ピアノコンクール実行委員会 事務局 (佐賀新聞文化センター内)

〒840-0826 佐賀市白山2丁目7-1 エスプラッツ3F

TEL 0952-25-2160 info@saga-sbc.jp

<https://www.saga-sbc.jp>

佐賀新聞文化センター

検索